

## I 目指す学校

## 【教育目標】

「自由と責任を重んじ、自立の精神に充ちた個性豊かな人間を育成する」

## 【育成する生徒像】

- ・将来のわが国を背負って立ち、地球的な視野で物事を考え、行動できる有為な人材
- ・高い学力のみならず、知・徳・体のバランスのとれた良識あるリーダー

教育目標及び育成する生徒像に基づき、目指す学校は以下のとおりとする。

《 目指す学校 》

- (1) 基礎の徹底と発展的な学習により、生徒の第一志望を実現できる進学指導を重視する学校
- (2) 国際理解教育を推進し、国際交流を積極的に行う学校
- (3) 学校行事や部活動において生徒が活発に活動する学校
- (4) 近隣の学校、地域住民、保護者、同窓会等から信頼される開かれた学校
- (5) 授業規律を確立し、生徒が自律的に高い志をもって学ぶ学校
- (6) 新入生セミナー合宿、勉強合宿等を実施し、キャリア教育を推進する学校
- (7) 森林保全合宿、環境教育を通して、環境マインドを育成する学校

## II 中期的目標と方策

## 1 学習指導

- (1) 進学指導推進校として、教育内容の質の向上と内容の充実を図る。
  - ① 国公立大学進学を見据えた全科目履修型の教育課程を編成し、適正に実施する。
  - ② 学力調査等のデータ分析に基づき、生徒の学力の実態を把握し、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」を育むなど、生徒の学力向上に取り組む。
  - ③ 国語をはじめ各教科等において言語活動の充実を重視した授業を実践し、思考力・判断力・表現力を育成する。また、学習活動全体で図書館を活用した読書活動を推進する。
  - ④ 生徒一人一人の「確かな学力の定着と伸長」を目指して、数学及び英語において習熟度別授業を実施する。
  - ⑤ 基礎・基本の定着を図るとともに、発展・応用的な学習に触れる。
  - ⑥ 組織的に指導方法・指導内容の改善に取り組む。
- (2) 社会的自立を促し、社会参画する力を育成する。
  - ① 公民科の各科目や総合的な学習の時間等、学校の教育活動全体を通して、国や社会の様々な問題を自分の問題として捉え、考え、判断することができるよう主権者教育を推進し、自立的社会人としての素養を養う。
  - ② オリンピック・パラリンピック教育に関する指導内容をすべての教科等に位置付け、ボランティアマインドの醸成や障害者理解教育などを展開する。
- (3) 「カリキュラム・マネジメント」を促進する。
  - ① 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた教科横断的な視点から教育活動の改善を行う。
  - ② 生徒の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図るPDCAサイクルを確立する。
  - ③ 新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実を図る。
  - ④ 各教科等で育む資質・能力を明らかにし、次期学習指導要領に向けた教育課程の編成に取り組む。

## 2 進路指導

- (1) 3年間を見通した系統的・組織的な進路指導を推進する。
  - ① 進学指導推進校として、進学対策に組織的、計画的に取り組み、生徒一人一人の適性や能力を伸ばすとともに、生徒の第一志望の実現を図っていく。
  - ② 3年間の進路指導計画を作成し、キャリアガイダンスや進路講演会、外部模試等を計画的に実施する。
  - ③ ICTを活用した組織的な進路指導体制を確立し、各学年に共通した進路情報を提供してきめ細か

な進路指導を行う。

- ④ 1学年の信州大学訪問など「信州北園プロジェクト」と連携した行事の他、職業人へのインタビューワーク、分野別ガイダンス、キャンパス訪問など実践的なキャリア教育を充実させる。

### 3 生活指導

(1) 規範意識を醸成し、高いモラルをもった社会性を育成する。

- ① 生活指導指針・「身に付けさせる規律・規範」に関する全体計画を作成し、ルール・マナーの遵守、身なりや所作、適切なコミュニケーション、授業規律などを明示するとともに、規範意識を醸成し、高いモラルをもった社会性を育成する。
- ② 学校安全計画を作成し、交通安全教室、薬物乱用防止教室、セーフティー教室などを計画的に実施するとともに、SNS北園ルールに基づく指導を行うなど、安全教育を推進し、危険を予測し回避する能力と他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成する。
- ③ 「学校いじめ対策委員会」の役割と具体的な取組を明確にするとともに、全ての教職員により、いじめの総合対策・学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめ防止（いじめの未然防止、早期発見・早期対応）に学校全体で組織的に取り組む。
- ④ 「自助」「共助」の精神に基づき、適切に行動できる人材を育成するとともに、生徒の防災意識の向上を図るため、地域と連携した実践的な防災教育を充実させる。

### 4 健康づくり等

(1) 心身の健康の保持増進と校内美化の徹底を図る。

- ① 生徒の心のケアなど教育相談機能の充実を図るとともに、共生社会の中で、多様性を尊重した教育を推進する。
- ② PTAや関係機関と連携をして、生徒の不安や悩みを把握し、必要な対応を行うことができる支援体制を構築するなどにより、自殺防止の徹底を図る。また、保健体育等の時間を使い、教材を活用したSOSの出し方に関する教育を実施する。
- ③ 体育実技や部活動をはじめ、様々な体育的活動を通じて、運動意欲や体力の向上を図るための取組を展開する。また、「アクティブプラン to 2020」に基づき、体力向上の取組を実践する。
- ④ 教員系と行政系の職員が連携して、教育環境の整備や校内美化に努める。

### 5 特別活動・部活動

(1) 特別活動・部活動を通して、個性を伸ばし豊かな人間性を育む。

- ① 学校行事や生徒会活動、ホームルーム活動、部活動等を通して、主体性、創造性、協調性を伸ばし、集団の一員としてよりよい社会を築こうとする自主的、実践的な態度を育成する。
- ② 地域や近隣小中学校、関係機関との連携を密にし、地域行事、部活動体験、学習支援等への積極的な参加を促す。
- ③ 「オリンピック・パラリンピックの価値・精神」及び「東京2020大会ビジョン」等を踏まえ、オリンピック・パラリンピック教育を推進する。

### 6 募集・広報活動

(1) 都民に信頼される開かれた学校づくりを推進する。

- ① ホームページを充実させ、積極的に情報を発信する。
- ② 募集・広報活動の工夫・改善により、応募倍率の向上に繋げる。

### 7 特色ある教育活動

(1) 相互交流を通じて、多様な文化を尊重できる態度や資質を育み、グローバル人材を育成する。

- ① 学校設定科目として、第二外国語（ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語）を設置する。
- ② 海外語学研修の実施、積極的な留学生や訪問団の受け入れ、姉妹校交流、PASCH（ドイツ外務省連携事業）の活動など、国際交流を充実させる。

(2) 「信州北園プロジェクト」を通して、確かな学力とタフな人間力を育成する。

- ① 新入生セミナー合宿、森林保全合宿（長野県、伊那市、NPO法人「伊那谷森と人を結ぶ協議会」との連携事業）、勉強合宿など、実践的なキャリア教育を行うとともに、環境教育、ボランティア活動を推進する。
- ② 体験活動や演習を取り入れた教科「人間と社会」（総合的な学習の時間及び森林保全合宿等）を通して、キャリア教育を推進するとともに、道徳教育の充実を図る。

## 8 学校経営・組織体制

- (1) 生徒・保護者の期待に十分応えるべく、組織体制の充実を図る。
- ① 学校運営連絡協議会を各学期1回開催し、学校運営に関する意見交換、教育活動の観察、学校評価を通じて学校改革に取り組む。
  - ② 企画調整会議を中心に、学校全体の業務に関する企画立案及び連絡調整を行う。また、分掌組織との双方向の速やかな情報伝達を徹底する。
  - ③ 分掌部会等において、迅速・確実に情報を共有するとともに、担当業務の課題を把握し、検討を行う。
  - ④ 教科主任会を通して、教科間の連携を図る。また、各教科会で授業改善やシラバス作成などに取り組み、組織的な指導体制を確立する。
- (2) 法令を遵守し、服務事故のない学校づくりに全教職員で取り組む。
- ① 服務事故防止研修の実施や、日常的な点検を通して、個人情報の紛失や体罰・不適切な指導などの服務事故を未然に防止する。
- (3) 「学校における働き方改革推進プラン」に基づき、ライフ・ワーク・バランスを推進する。
- ① 効率性、生産性の向上等を目指し、効率的な事業運営を行う。
  - ② 休暇取得の促進、コンプライアンスを徹底した職場管理等、良好な職場風土を醸成する。

## Ⅲ 今年度の目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策	(2) 重点目標と方策 [昨年度数値]
<p><b>1 学習指導</b></p> <p>(1) 質の高い授業を創造する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」を実践する。</li> <li>② 双方向の授業を行い、生徒が思考・判断・表現する場面を設定することにより、生徒の主体的に学習する態度を醸成する。</li> <li>③ CAN-DOリストを活用した指導と評価に取り組むとともに、外部試験による生徒の4技能別英語力を把握し、指導方法を改善する。</li> <li>④ 相互授業参観や指名制による授業研究、外部の研究会への参加などによって、授業力向上に努める。また、その成果を各教科で共有する。</li> </ol> <p>(2) 「教科マネジメント」を確立し、組織的に生徒の学力向上に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 3年間を見通した指導計画を作成し、それに基づく教科指導を行う。</li> <li>② 授業の取組や定期考査・外部模試等の分析、生徒による授業評価を活用し、授業改善に取り組む。</li> <li>③ 学カスタンダードに具体的な学習目標を明示し、校内で組織的・効果的な指導を行う。</li> <li>④ 記述力・論述力を測る定期考査を実施するとともに、定期考査問題の共通化を推進する。</li> </ol>	<p>(1) 授業改善に組織的に取り組み、学力の向上を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 生徒による授業評価を年2回実施し、分析結果を基に校内研修を行う。</li> <li>② 学カスタンダードの目標に基づき指導と評価を行い、指導内容・方法の改善を図る。</li> <li>③ 授業に関する校内研修や教科会を開催し、授業改善を図る。</li> </ol> <p><b>【数値目標】</b></p> <p>ア 生徒による授業評価の各項目で、肯定割合80%を達成する。 〔学習内容85.8%、能力の伸長84.4%、関心・意欲79.0%、主体的な取組80.2%〕</p> <p>イ 学校評価アンケート(満足できる授業)80%〔生徒68.1%、保護者64.4%〕を目指す。</p> <p>ウ 全科目においてセンター試験全国平均+10.0p〔+9.6p〕の平均点(100点満点換算)を達成する。</p> <p>エ GTEC3技能Advancedタイプのスコアの学年平均、1年500.0〔484.8〕、2年520.0〔504.5〕を目指す。</p>
<p><b>2 進路指導</b></p> <p>(1) 生徒の第一志望の実現を図る進学指導を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 生徒の成績推移等の情報を共有し、担任・教科担当・部活動顧問等があらゆる場面で生徒を励まししながら、第一志望を貫くように学校全体で支援する。</li> <li>② 「進路ニュース」を月1回程度発行し、情報提供に努める。</li> <li>③ 進路指導部と担任・教科担当の連携を深め、組織的な進路指導の充実を図る。</li> </ol>	<p>(1) 国公立・難関私立大学受験の取組を強化する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 外部模試等終了ごとに模試分析会を実施、適宜個別ケース会議を設定し、学校全体で情報共有を図る。</li> <li>② 模試等の結果について教科会で検討し、教科指導・個別指導へ反映させる。</li> </ol> <p><b>【数値目標】</b></p> <p>ア 学校評価アンケート(第一志望実現を支援する進路指導)80%〔生徒76.5%〕を達成する。</p>

<p>④ 生徒面談や三者面談等を通じて、一人一人の適性・能力に応じた指導を行う。</p> <p>⑤ 1年勉強合宿・2年夏季特別講習(希望者7月)により、高い学力を育てる。</p> <p>⑥ 「信州北園プロジェクト」を通して、実践的なキャリア教育を推進する。</p> <p>⑦ 保護者会等において、進路に係わる情報を積極的に提供する。</p>	<p>イ 国公立大学現役合格者 50名〔48名〕を目指す。</p> <p>ウ 大学入試センター試験出願率 95%〔98.1%〕、5教科7科目受験 45%〔39.7%〕を達成する。</p> <p>エ 長期休業期間中に100講座以上〔107講座〕の補習・講習を実施する。</p> <p>オ 学年+1時間の自主学習時間を確保する指導を行い、50%〔47.3%〕の達成を目指す。</p>
<p><b>3 生活指導</b></p> <p>(1) 全教職員が一致して生徒と向き合う生活指導に取り組む。</p> <p>① 年間3回以上の生徒面談を実施し、生徒理解を深める。</p> <p>② 基本的な生活習慣を確立させるとともに、組織的に遅刻指導に取り組む。</p> <p>③ チャイム始業を徹底し、はじめある授業規律を徹底する。</p> <p>④ いじめのアンケートを年3回(7月、10月、1月)実施し、早期発見に努める。</p> <p>⑤ 防災教育推進委員会と連携し、宿泊防災訓練や年3回の避難訓練を計画・実施する。</p>	<p>(1) 規律ある学校生活の中で、自立の精神を養う。</p> <p>① 全教職員が一致して生活指導にあたり、生活規律を確立させる。</p> <p>② 自律的な高いモラルをもって社会の中で行動ができるよう、すべての教育活動を通じて育成する。</p> <p><b>【数値目標】</b></p> <p>ア 遅刻指導を徹底し、遅刻者数を減らす。(各クラス1日平均1人以内〔1.27人〕)</p> <p>イ 学校評価アンケート(生徒と向き合う生活指導、いじめ防止、防災教育の取組) 80%〔生徒72.2%、78.0%、70.5%〕を目指す。</p>
<p><b>4 健康づくり等</b></p> <p>(1) 健全な心身を育む取組を行う。</p> <p>① スクールカウンセラーによる1年生全員面接を実施する。</p> <p>② スクールカウンセラー等を講師とした校内研修会や事例検討会を充実させる。</p> <p>③ 体力テストで自己の課題を把握させ、一人一人が自分の目標をもって取り組む指導を行う。</p> <p>(2) 校内美化・保健衛生に取り組む。</p> <p>① 「保健だより」を月に1回程度発行し、生徒に情報を発信する。</p> <p>② 月1回の大掃除などにより清掃を徹底し、全校あげて校内美化に取り組む。</p> <p>③ アレルギーをもつ生徒情報を共有するとともに、エピペンの使用方法に関する研修を4月中に実施する。</p>	<p>(1) 教育相談機能の充実を図る。</p> <p>① スクールカウンセラーとの連携を密にし、ケース会議を開催するなど情報を共有する。</p> <p>② 精神科医による学校相談活動を学期に1回以上実施する。</p> <p><b>【数値目標】</b></p> <p>ア 学校評価アンケート(教育相談の整備、校内美化の取組) 80%〔生徒76.1%、75.4%〕を目指す。</p> <p>イ 体力合計点の各学年の校内平均値を、全国平均値へと向上させる取組〔全国比+0.1p〕を行う。</p>
<p><b>5 特別活動・部活動</b></p> <p>(1) 文武両道を推進し、特別活動・部活動を充実させ、生徒の帰属意識を高める。</p> <p>① 終祭、体育祭、修学旅行等の学校行事を通して、成就感や達成感を高める。</p> <p>② 地域、関係機関との連携を密にし、地域行事、ボランティア活動、奉仕活動へ参加させる。</p> <p>③ 部活動への加入(一人一部活動)を奨励し、部活動加入率を高め、部活動を活性化させる。</p> <p>④ 生徒会を中心にボランティア活動や地域等の社会貢献活動を継続させる。</p> <p>⑤ オリンピック・パラリンピックに関する教育をすべての教科に位置付けて行う。</p> <p>(2) 「理数研究校」として、理数に興味・関心をもつ生徒の裾野を拡げ、探究活動に取り組む。</p> <p>① 「科学の祭典」に参加し、その他各種科学コ</p>	<p>(1) 特別活動や部活動を通じて、個性豊かな人間性を育む。</p> <p>① 生徒の実行委員会を中心に、主体的に学校行事に取り組みせる指導を行う。</p> <p>② 生徒会活動・委員会活動を充実させ、自主的・自立的な活動を支援する。</p> <p><b>【数値目標】</b></p> <p>ア 学校評価アンケート(学校行事の取組・部活動満足度) 80%以上〔生徒89.4%、83.9%〕を継続させる。</p> <p>イ 部活動加入率 100%〔96.0%〕を目指す。</p>

<p>ンテストへの出場を目指す。</p> <p>② 専門機関の講師による講義や実習を実施し、研究及び発表内容の充実を図る。</p>	
<p><b>6 募集・広報活動</b></p> <p>(1) 本校を第一志望とする生徒を獲得する。</p> <p>① ホームページを積極的に活用し、適時適切な情報発信に努める。</p> <p>② 学校説明会や学校見学会、公開授業などの機会に、生徒会と協力し、学校の特色や魅力を伝えていく。</p> <p>③ 部活動の見学・体験入部、中学校との合同練習などに積極的に取り組む。</p>	<p>(1) 広報活動を改善し、適時適切な情報発信を行う。</p> <p>① 学校説明会（年3回）、学校見学会（夏季休業中及び随時）、公開授業（年3回以上）の他、中学生部活動体験を実施する。</p> <p>② ホームページ全面的に刷新する。また、年間180回以上〔225回〕更新を行う。</p> <p><b>【数値目標】</b></p> <p>ア 学校評価アンケート（ホームページによる適切な情報発信）80%〔生徒79.7%〕を目指す。</p> <p>イ 来校者アンケート（参加満足度）90%〔98.6%〕を継続させる。</p>
<p><b>7 特色ある教育活動</b></p> <p>(1) 海外学校間交流推進校として、国際理解教育を推進し、世界で活躍できる人材を育成する。また、国際交流リーディング校としての活動を充実させる。</p> <p>「学校2020レガシー」として、相互交流を中心とした豊かな国際感覚を育成する。</p> <p>① スミスヒルハイスクール及びウヌーナハイスクールとの姉妹校連携（海外語学研修）を充実させる。</p> <p>② ドイツ姉妹校のテレッタ・グロス・ギムナジウムへの生徒短期留学を実施する。</p> <p>③ ドイツへの短期留學生徒派遣事業、PASC Hキャンプへ派遣する。</p> <p>④ 東京国際フランス学園「リセ」との交流活動を定期的に行う。</p> <p>⑤ 北方四島青少年の受入れ、ロシア日本語履修高校生招聘と生徒の派遣等を行う。</p> <p>(2) 「信州北園プロジェクト」によるキャリア教育・環境教育を充実させる。</p> <p>① 新入生セミナー合宿（1年5月）により、高校生の基盤作りを行う。</p> <p>② 森林保全合宿（2年5月）により、タフな人間力を育成する。</p>	<p>(1) 相互交流を主体とした国際理解教育を推進する。</p> <p>① 豪・スミスヒルハイスクール及びウヌーナハイスクールでの海外語学研修を実施する（8月）。</p> <p>② PASC Hのパートナー校としての国際交流を充実させる。</p> <p>③ 語学検定の合格、全国スピーチコンテストの入賞を目指す。</p> <p>④ 海外学校間交流推進校として、一層の連携強化を図る。</p> <p><b>【数値目標】</b></p> <p>ア 学校評価アンケート（国際理解教育の充実度、「信州北園プロジェクト」による人間力育成）80%〔生徒89.1%、81.4%〕を継続させる。</p>
<p><b>8 学校経営・組織体制</b></p> <p>(1) 進学指導推進校として組織的な学校運営を推進する。</p> <p>① 企画調整会議と各分掌、経営企画室との連携を密にし、ボトムアップ機能を充実させる。また、経営企画室職員は、年3回分掌会議へ参加し、学校の課題を共有する。</p> <p>② 教科会を充実させるとともに、教科主任会を適宜実施し、教科を横断した学習指導に関する情報交換や連携を促進する。</p> <p>(2) 服務事故の未然防止に努める。</p> <p>① 年3回の服務事故防止研修等により個人情報管理や体罰等の防止対策を徹底する。</p> <p>(3) 働き方改革を推進する。</p>	<p>(1) PDCA（計画、実施、評価、改善）のマネジメントサイクルの機能を高める。</p> <p>① 学校評価、生徒による授業評価、来校者アンケート等を活用し、学校経営計画の目標を適切に評価し、改善に生かしていく。</p> <p>(2) 各種会議の時間短縮や校内の業務効率化を推進し、教職員の在校時間を縮減する。</p> <p><b>【数値目標】</b></p> <p>ア 学校運営連絡協議会の協議委員の「学校が良くなった」評価100%〔100%〕を目指す。</p> <p>イ 学校評価アンケート（体罰や暴言のない指導の実践）90%〔生徒91.8%〕を継続させる。</p>

- ① 在校時間を適切に把握し、教員の意識改革を図る。
- ② 教職員の業務見直しなど、業務改善に努める。
- ③ 超過勤務縮減に向けた取組として、完全消灯日を週に1回設け、午後8時までの最終退庁・施錠手続を徹底する。